

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【公開番号】特開2012-45102(P2012-45102A)
 【公開日】平成24年3月8日(2012.3.8)
 【年通号数】公開・登録公報2012-010
 【出願番号】特願2010-188489(P2010-188489)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

A 6 1 B 3/12 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

A 6 1 B 3/12 E

G 0 6 T 1/00 2 9 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼部の断層画像から複数の層厚に関する情報を取得する取得手段と、
 前記複数の層厚に関する情報を関連付けて表示手段に表示させる表示制御手段と、
 を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記複数の層厚に関する情報に基づいて複数の層厚を同一のグラフに示す層厚グラフを
 作成する層厚グラフ作成手段と、をさらに有し、
 前記表示制御手段は、前記層厚グラフ作成手段で作成した層厚グラフを表示手段に表示
 させることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記層厚グラフ作成手段は、基準線に対して前記複数の層厚を同一のグラフの上に示す
 層厚グラフを作成することを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記層厚グラフ作成手段は、基準線の上下に単数のグラフ、基準線の上下に複数のグラ
 フ、基準線の上に複数のグラフ、基準線の下に複数のグラフのいずれかとする層厚グラフ
 を作成することを特徴とする請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項5】

前記取得手段は、前記断層画像から複数の層境界を検出することにより、前記複数の層
 厚に関する情報を取得し、

前記表示制御手段は、前記眼部の断層画像の層境界線を表示し、前記層厚グラフ作成手
 段で作成した層厚グラフは、前記眼部の断層画像の層境界線と関連付けていることを特徴
 とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項6】

前記関連付けは、色、線の種類、透明度のいずれかであることを特徴とする請求項5に
 記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記取得手段は、前記断層画像から複数の層境界を検出することにより、前記複数の層厚に関する情報を取得し、

前記グラフ作成手段は、検出された一の層境界を基準線とする層厚グラフを作成することを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記取得手段は、複数の断層画像それぞれから複数の層厚に関する情報を取得し、

前記グラフ作成手段は、前記基準線の上と下とにそれぞれの断層画像から取得した前記複数の層厚に基づく層厚グラフを作成することを特徴とする請求項 4 に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記グラフ作成手段は、帯状の形状で表される正常眼の層厚を含む前記層厚グラフを作成することを特徴とする請求項 2 乃至 8 のいずれか一項に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

眼部の断層画像から複数の層厚に関する情報を取得する取得工程と、

前記複数の層厚に関する情報を関連付けて表示手段に表示させる表示制御工程とを有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の画像処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。